

特集

はるえイッチョライ でんすけ祭りとは

議会報告会

一般質問

常任委員会報告



らしさ、かがやく。

坂井市
LINE 公式アカウント

坂井市の最新情報を日々発信中！

こちらの二次元コードから
「福井県坂井市」を友達に追加 ▶





1 祭りの歴史

祭りが廃止！じゃ俺らで祭りやるぞ！

昭和60年から平成15年まで計19回、旧春江町では行政主体の下『はるえまつり』が毎年盛大に開かれ、夏の風物詩として多くの人に愛されてきました。

メインの歌謡ショーでは毎年2人の有名人が出演しており、坂本冬美さんや八代亜紀さん、小林幸子さん、森進一さん、堀内孝雄さんなど、紅白出演者級の歌手も登場し、子どもからお年寄りまで楽しみにしていた夏のイベントでした。

しかし、合併や財政の事情で平成16年に中止、翌年には存続の声もむなしく正式に廃止されました。

そんな中、「春江から祭りをなくしたらダメだ！坂井市になっても春江から風を吹かすぞ！」と地元の有志が立ち上がり、旧春江町時代の行政主体から完全民間主体による実行委員会が立ち上がりました。

実行委員の尽力と地元企業の温かい協力を得て、平成18年7月に第1回『はるえイッチョライでんすけ祭り』として生まれ変わりました。



2 祭りの今

先代たちの想いを引き継ぎながら

今年で第19回を迎える『はるえイッチョライでんすけ祭り』は9月27日（土）に開催されます。

これまでは毎年7月最終土曜日（第2回～第16回までは2日間）に開催され、「いよいよ夏本番！」「夏休みスタート！」と夏の風物詩だった祭りも、近年の猛暑により本年から秋開催に変更となりました。

実行委員会も初期のメンバーから、現在のメンバーに代替わりして、若手も加わり、立ち上げ時からの想いを大事にしながら、今の時代に合った楽しい祭りをつくろうと意気込んでいます。

世代が変わっても、「春江から風を吹かすぞ！」という気持ちはみんな一緒！



詳細はこちら



特集

はるえイッチョライ

でんすけ祭りとは

実行委員会に聞きました！

3 祭りの未来

仲間が増え続けている実行委員会

来年で第20回を迎える『はるえイッチョライでんすけ祭り』は、かつて行政主体で行われていた『はるえまつり』を超えるほどの歴史を重ねてきました。（コロナ禍で2年中止していました）

それもひとえに、先代の想いを受け継ぎ、つなげてきた現メンバーや若手の力によるものです。

時代が移り変わっても、ハートピア春江で夜遅くまで友達と走り回って遊んだ祭りの記憶を持つ子どもたちが、いつか大人になって実行委員会の一員となり、この祭りのバトンを受け取ってくれることを願いながら、私たちはこれからもこの祭りを続けていきたいと思っています。



4 祭りへの想い

でんすけさん、どっこいしょー！

『はるえイッチョライでんすけ祭り』は、地域に暮らす私たち一人一人がつながる大切な場です。祭りを絶やすまいと立ち上がった先人たちの情熱から始まり、今も多くのメンバーが汗をかき心を込めて準備に当たっています。

地域が誇る文化や人の絆を未来へつなげていくために、みなさんと一緒に楽しみ、盛り上げて行きたいと思っています。

三代目実行委員長 小林 秀夫



「でんすけ」って何？

ある大雨で九頭竜川が氾濫し、大きな鮭が田んぼに流れ込んだ際、人々が鮭を捕るときに叫んだ「でっけーしゃーけ！」という掛け声がなまって「でーんすーけ」になり、いつの間にか、春江民謡『はるえでんすけ』の中にある掛け声、「でんすけさん、どっこいしょー！」となったようです。それから、地元の有志が集まり、掛け声をもとに『でんすけさん』を『田』を『助』けると書いて『田助さん』と設定しました。農作物が育つ手伝いをしている春江に暮らす人々全体を表す言葉になったものです。（※諸説あり）



ボランティア大募集



今年で第19回、歴史のある『はるえイッチョライでんすけ祭り』皆さんの力を私たちに貸してください！ 私たちと一緒に祭りを盛り上げましょう！

日時 令和7年9月27日（土） 場所 ハートピア春江 9:00～18:00（21:00）

活動内容 祭りの運営サポート・記録活動・美化運動

お問い合わせ 実行委員 柳生 ☎080-2963-9334

詳細はこちら

一般用



学生用





総務生活環境常任委員会報告

主な質疑内容

総務部

Q 職員の事務分掌でメンター※を設けたが役割は管理職が担うべきではないか。

A 若手職員が相談しやすいように年齢の近い主任、主査級の職員にメンターを託した。管理職はメンターに頼ることのないような職場の雰囲気づくりに努めることとしている。

※メンター：相談役

総合政策部

Q 三国湊官民連携まちなか再生事業について、山梨県甲府市を参考にした理由は。

A 「さまざまな分野の関係者がいる」「駅から観光資源の周遊性を高める」という三国湊の将来ビジョンと、甲府市のまちなか未来ビジョンが非常に似ているためである。

Q 民間による住みよさランキングの発表で福井市が1位、本市が77位という結果について本市の見解は。

A これまで本市は2位となった実績がある。主催者側での設問や配点方法の変更が影響したものであり、順位は下がったが、本市自体の住みよさそのものが低下したとは考えていない。

財務部

Q 坂井市中期財政計画の策定について、歳入に対し、競艇事業収益繰入金25億円を各年度見込んでいる根拠と将来の展望は。

A 近年の収益状況から計画策定している。一方、この収益に頼らない財政運営が理想であることから、財政健全化を早い段階から取り組み、安定した持続可能な財政運営に努めていく。

Q 昨今の建設資材の高騰による設計予算額への対応の考えは。

A 本市においては最新の物価資料、積算資料に基づいて設計を行い、入札執行をしている。

生活環境部

Q 地域脱炭素推進交付金の採択に伴う市の負担はあるのか。

A 事業費31億円のうち、国の交付金が8億6千万円であり、残りを家庭向け事業は個人負担、事業者向けは各企業が負担するため、市の負担はない。

また、^{だけ}高浄水場はPPA事業※を活用し太陽光発電設備を導入するため、後年度において電気料金のなかで設置費用を相殺していく。

※PPA事業：事業者が太陽光設備を設置し、施設所有者である企業や住宅所有者などが電気料金などを事業者を支払う契約制度。

Q 自動運転社会実装推進事業の取り組み内容は。

A 国の採択を受けながら、令和7年度から、春江病院から春江支所間で自動運転のイータクを走らせるため、必要なデータを作成、3年かけて実証運行し、令和10年度にレベル4運転を目指していく。



▲坂井市に導入された自動運転車両
(実走時には車体にラッピングが施されます)

議長
副議長
あいさつ

このたび、議員各位のご推挙により、議長・副議長に就任させていただきます。

私たち自身、浅学非才の身ではありますが、その職責の重要さを自覚し、本市発展のために、全力を尽くす覚悟でございます。

二元代表制の一翼を担う議会の役割は、議決機関としての政策の決定や執行機関の監視にとどまらず、議会内での政策調整や立案機能を十分発揮し、市民の付託に応えることが重要と考えております。

このことが市民のウェルビーイングにつながると思いますので、今後とも皆さまのご指導とご理解をいただきますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。



議長
佐藤 寛治

副議長
前川 徹

副議長 議長

令和7年5月1日の第3回臨時会において、就任しました。

定例会審議結果

全会一致となった議案と議決結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
同意第2号	公平委員会委員の選任について	同意	議案第44号	坂井市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び坂井市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第38号	財産の取得について	可決	議案第45号	令和7年度坂井市一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第39号	財産の取得について	可決	陳情第2号	食料・農業・地域政策の推進に向けた要請	採択
議案第40号	令和7年度坂井市一般会計補正予算（第2号）	可決	発議第4号	食料・農業・地域政策の推進に関する意見書の提出について	可決
議案第41号	字の一部区域の変更について	可決			
議案第43号	坂井市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決			

賛否が分かれた議案一覧

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 ―…原則採決に参加できない

議案番号	件名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
		議員氏名 審議結果	林 豊 豊	佐藤 岳之 岳之	廣瀬 陽子 陽子	鍋嶋 邦広 邦広	伊藤 宏実 宏実	岡部 恭典 恭典	山田 秀樹 秀樹	三宅 小百合 小百合	後藤 寿和 寿和	前川 徹 徹	上坂 健司 健司	戸板 進 進	古屋 信二 信二	佐藤 哲治 哲治	松本 寛朗 寛朗	伊藤 聖一 聖一	辻 人志 人志	川畑 孝治 孝治	前田 嘉彦 嘉彦	永井 純一 純一	畑野 麻美子 麻美子	
議案第42号	坂井市中期財政計画の策定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○



産業建設常任委員会報告

主な質疑内容

産業政策部

Q 肥料資源利用拡大事業による肥料製造施設で作られた堆肥の市内農家への供給は。

A 補助対象者は、坂井北部丘陵地の農業法人と畜産農家で組織する事業協同組合である。将来的にはペレット化を実現することにより利用範囲の拡大を図り、市内農家への供給についても検討していく。

Q 中小企業振興支援事業に関する加工食材の活用および地域住民や地元に還元させる取り組みは。

A 地元食材の農水産物の高付加価値化を目指しており、流通先は首都圏の高級店を予定しているが、今後、災害時の缶詰などに応用できないか事業者提案していく。

また、併設するキッチンラバにおいて、地元食材を使った商品開発などにより生産者につながる事業展開をしていきたい。

Q 美食都市アワードに選ばれたが、市民に対して実感できる対策が必要では。

A 全国で5都市に選ばれたことは、市民にとって誇りが持てることである。それぞれの生産者が美食の一翼を担っていることを、学校給食などを通じて子どもたちに伝える。また、飲食店内での極味膳などを通じてPRしていき市民の意識の醸成を図る取り組みを検討していく。



▲ 委員会で視察した、東尋坊につながる荒磯遊歩道

建設部

Q 都市公園整備事業の工事請負費の増額理由は。

A 国の補助額が確定したことに伴う工事請負費の増額と、材料費や人件費などの高騰による増額で、当初より約1.2倍の増加となっている。

Q 街なみ環境整備事業の事業概要は。

A 三国湊地区を歴史的な街並みにするため、旧三国北幼稚園を解体し、観光にきた人などの休憩場所とし、維持管理費がかからないようなポケットパークを整備する。

Q 下水道設備の耐震化計画は。

A 令和7年3月に策定した耐震化計画に基づいて上下水道管の耐震化工事を予定している。令和7年度は水道管の耐震化工事を進めており、下水道管について、令和8年度に耐震診断の調査を順次行っていく。

請願・陳情

陳情 第2号	食料・農業・地域政策の推進に向けた要請	採択
-----------	---------------------	----

意見陳述者を招致し説明を受け審査

【主な意見】

- 高齢化、担い手不足など農業を取りまく環境は厳しいものがあり、持続可能な農業を維持していくための対策が急務である。
- 農業者が将来展望と希望を持って農業を継続できる体制は必要である。
- 日本の国土を守る上でも農業が大切な産業の一つである。



教育民生常任委員会報告

主な質疑内容

三国病院

Q 物価高騰、人件費高騰の影響と対策は。

A 当院の規模では物価高騰の影響は少ない。人件費は令和5年度と令和6年度の金額を比較すると、約3,000万円の増で上昇傾向にあり、令和7年度も続くと考えられる。対策は収益を伸ばすことであり、そのためには病床利用率を上げ、それに対応できるスタッフの確保が1番の課題と捉えている。

Q マンモグラフィ装置導入の成果は。

A 乳がんを早期発見するための高性能の撮影装置であり、乳がん検診の数も増えている。引き続きしっかり役立てていく。



▲ 三国病院のマンモグラフィ装置

教育委員会

Q 学校給食の米を低価格で入手するとのことであったが方法は。

A 令和7年度の米は令和6年度中に事業者に必要な量を申請している。価格についても令和6年度から変更はなく年間必要量を確保できている状況である。

Q 学校給食の供給能力が、市内全児童・生徒数を大きく上回り余剰となっている。合理化に向けての検討は。

A ワーキンググループでは、自校方式を転換し給食センターに集約、民間事業者のデリバリー拡大、給食センター再編に加え民間事業者の利用などの意見が出ている。今後検討委員会を設置し、あわせて検討していきたい。

健康福祉部

Q 生活保護システム改修に関する被保護者調査の調査項目変更の内容は。

A 国が生活保護の実態を把握する目的で実施している調査について、介護保険制度の改正に伴い、介護扶助の介護療養型医療施設が廃止されたことに対応する改修である。

Q 子育て魅力創出事業の内容は。

A 初めて子育てイベントを開催する人を発掘するため、実績のある事業者に伴走支援を委託する事業である。

Q 経済的な理由で補聴器を購入できない難聴者への支援は。また、使われなくなった補聴器を必要な人に無償または低価格で提供する活動を行う「補聴器バンク」を設立してはどうか。

A 補聴器を使用することでコミュニケーションがとりやすくなり、外出や社会参加の意欲が高まることは生活の質の向上につながるものと認識している。

補聴器の補助については引き続き国の動向も注視していきたい。補聴器バンクについては調査していく。

市政のここが知りたい

一般質問

令和7年6月11日～13日の3日間：16人

次ページからは、質問項目中の特に市民の皆さまへお届けしたい内容を掲載しています。

全編については後日議会ホームページに掲載される会議録や、YouTube(チャンネル名・福井県坂井市議会)をご覧ください。YouTubeは議員写真下の二次元コードから視聴できます。なお、文章は各議員が作成しています。

一般質問ってなに？ 定例会において、議員が市の実施している事業の状況や方針などについて、市から報告や説明を求めるために質問することです。

【通告一覧】

議員氏名	通告内容	ページ	議員氏名	通告内容	ページ
辻 人志	(1) 小規模店舗の事業承継支援について (2) 新保橋の拡幅改修について	9	永井 純一	(1) 市窓口に軟骨伝導イヤホン導入を (2) ここサボの体制強化について	13
鍋嶋 邦広	(1) 坂井市のホテル誘致に関する取組と今後の観光戦略について	9	山田 秀樹	(1) 市民を守る防犯カメラ	13
伊藤 聖一	(1) 放課後児童クラブ必要性確認とこども誰でも通園制度導入の理念について	10	廣瀬 陽子	(1) 有害鳥獣対策について	14
戸板 進	(1) 福井港丸岡インター連絡道路Ⅰ期工事完了及び福井森田丸岡線工事完了に伴う周辺土地利用について (2) 福井空港再整備について	10	佐藤 岳之	(1) 坂井市制施行20周年に向けての取組について (2) 建設予定地に完成予想図を	14
後藤 寿和	(1) 東尋坊再整備について	11	畑野麻美子	(1) コメ価格の高騰による、お米の購入補助を (2) 公契約条例の制定で地域での「好循環」の実現を	15
伊藤 宏実	(1) プラごみ一括回収の成果と課題について (2) 洋上風力発電について	11	三宅小百合	(1) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築を	15
岡部 恭典	(1) えちぜん鉄道利用者の利便性について	12	林 豊夏	(1) 「子育てするなら坂井市」の実態と今後の展望について	16
川畑 孝治	(1) 若者対策を (2) リチウムイオン電池などの回収をすべき (3) 旧春江工業高校グラウンドの活用を	12	松本 朗	(1) イータクの改善・充実を求める (2) 国民健康保険税の軽減のために、子どもの均等割の廃止を求める (3) 能動的サイバー防御関連法と市民、地方行政 市長の見解、懸念は	16

令和7年度

一般会計補正予算概要

補正額 **4億9,094万円** (補正後の額 492億594万円)

令和7年度一般会計補正予算(第1号・2号・3号)を議決しました。

ここには主な事業を掲載しています。

詳細はこちら▶



学校給食管理事業 450万円

「ふくいの食育推進事業」として、地場産食材を使用した副食を追加する「地場産プラスワン給食」を実施するための所要額を計上。

地球温暖化防止対策事業 1,430万円

省エネ性能の高いエアコンまたは冷蔵庫の購入、LED照明器具への買い替えを補助するための費用を計上。

商工事務事業 1億4,950万円

PayPayによるキャッシュレスキャンペーンのための費用を計上。

肥料資源利用拡大事業 1億2千万円

廃棄・焼却などで未利用となっている農業副産物の利活用を推進するため肥料製造施設整備への補助金を計上。

市議会のYouTubeチャンネルをご存知ですか？

市議会では、開かれた議会の一環として、YouTubeにて定例会一般質問などの録画動画の公開を行っています。

YouTubeウェブサイト内で「坂井市議会」と検索、または下記の二次元コードを読み取ることで、坂井市議会のYouTubeチャンネルにアクセスできます。

広報紙に載せきれていない答弁なども見ることができますので、ぜひ、ご視聴ください。

また、チャンネル登録をしていただくと新しい動画の通知が届きます。ぜひ、ご登録ください。



福井県坂井市議会
@福井県坂井市議会



坂井市議会
YouTubeチャンネル

Check



辻人志



小規模店舗の事業承継支援を



Q 長年地域で愛されてきた飲食店や書店などの身近な店舗について、後継者がいないため閉店する事業者が散見される。

身近な店舗の閉店は地域のにぎわいの低下に拍車をかけることになると考える。

A 小規模店舗の事業承継支援について、市の取り組みを問う。

福井県事業承継・引継ぎ支援センターが専門家による相談対応や補助金の交付などを行っており、同センターと連携しながら支援を行っている。

坂井市商工会においても事業承継の相談を受けていて、経営・資金の両面から総合的な支援を行っている。

新保橋の早期架け替えを



Q 新保橋について、現在どのような修繕が行われているのか。

A 県の長寿命化計画に基づいて点検と修繕が行われているが、現在は鉄骨部の塗り替え工事を実施している。

Q 本市の重点要望として、毎年県に対して架け替えを要望しているが県の反応は。

A 今後の定期点検の結果や大型車の利用状況を踏まえながら、架け替えの必要性について検討していくとのことだが、事業化に向けた検討を県に働きかけていきたい。



▲ 架け替えが待たれる新保橋

鍋嶋

邦広



積極的な大型ラグジュアリーホテル誘致の取り組みを



Q 令和2年から令和6年までの本市の宿泊施設の推移は。

A 施設数は48軒から59軒、客室数が816室から841室に、収容能力は、3080人から3125人と45人増加した。

Q 本市が美食都市アワードを受賞したが、今後の取り組みは。

A パンフレット、ホームページ、ふるさと納税などで既にPRしており、これからさらに強化していく。

Q 令和7年7月中旬には、東京にてマスメディア、インフルエンサーなど発信力のある人を対象に、美食都市アワード受賞記念の報告会を開催予定である。

Q 積極的なホテル誘致に対する考えは。

A ホテル誘致は重要で、県全体を考えてもまだまだ宿泊施設が不足しているというデータもあり、本市においても宿泊施設を増やすと

いうことは重要であると認識している。

副市長をトップとするチームを組織し、まずは候補地の選定や関連法規の確認など、必要な事項を丁寧に調査・研究していく。

そのうえで、同時並行して大手デベロッパーをはじめとしたさまざまな関係先に対してトップセールスを展開していきたいと考えている。



▲ 2025年美食都市アワードを受賞した5都市

伊藤

聖一



放課後児童クラブの利便性向上に向けて



Q 本市はどのような子育て社会を理想的と考えているのか。

A 子どもたちが身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態で生活が送れる社会が、本市の理想の子育て社会と考える。

こども誰でも通園制度は、保育所を利用してないゼロ歳6カ月から満3歳未満の児童を対象に、保護者の就労要件に関わらず、月

一定時間保育サービスを提供することになり、本市の子育て社会の理念の実現の一つである。

Q こども誰でも通園制度は利用する際に保護者の就労要件はないが、放課後児童クラブは就労要件があり、矛盾しているのでは。

A こども誰でも通園制度は、子育て家庭の孤立防止や育児支援を目的としている。

放課後児童クラブは保護者が就労している場合の、放課後の安全

な居場所を提供し、子どもたちの健全育成を図ることを目的としている。

それぞれの趣旨や目的に照らして実施しており矛盾はない。

Q こども誰でも通園制度と同様に、放課後児童クラブの必要確認条件を見直せないか。

A 限られた施設などの制約の下、真に必要なとする家庭を優先するため利用条件を設けているが、個別事情を伺い対応している。



▲ 放課後児童クラブの様子

戸板

進



福井港丸岡インター連絡道路Ⅰ期工事完了および福井森田丸岡線工事完了に伴う周辺土地利用は



Q 福井森田丸岡線と、末政随応寺線が交差する周辺を住宅専用地域に指定できないか。

A 分譲住宅などによる人口の増加は期待できる半面、土地利用の集約化や営農環境、田園景観の保全、後追いのな公共投資の防止など、立地適正化計画の目的に合致しないことから難しい。

Q 福井港丸岡インター連絡道路と福井森田丸岡線が交差する周辺を、農用地区域の変更が可能となるまでに、新たな用途地域の指定や、地区計画は検討できないか。

A 新たな用途地域の指定は、市街地の衰退、交通の渋滞、景観の悪化などが予想されることから、現時点では非常に厳しい。

また、地区計画については、今後の企業立地の動向、物流需要を踏まえ調査研究する。

福井空港再整備と市の連携を



Q 福井空港を防災拠点空港として、また観光客誘致空港として、市は今後どのように活用するのか。

A 地域住民や事業者に親しまれる身近な空港として、イベントなどの情報発信に努め、小型機、チャーター便などの活用については、各関係団体と空港の利便性を生かした観光振興策を協議していく。



▲ 建設工事中の福井港丸岡インター連絡道路



後藤 寿和



東尋坊再整備の全体構想は



Q 再整備の基本的なビジョンは。事業の段階的な進め方と整備完了予定時期はいつになるのか。

A 人工の構造物を減らし環境共生を掲げ、自然に戻すコンセプトである。

Q 商店街や駐車場、中広場、ビクターセンターの整備を段階的に進め、おおむね令和10年度に整備完了する事業計画である。

Q 今後のインバウンド誘致戦略やプロモーションの方向性は。

A 小松空港への直行便がある台湾や香港からの誘客を強化していく。

Q これまでの体験コンテンツをまとめたインバウンド向けパンフレット作成、令和7年11月に開催される2025台北国際旅行博や商談会でのプロモーションを計画している。

Q 再整備後の東尋坊の今後の展望と期待する変化や効果は。

A 世界中に発信するような施設と



▲再整備が進む東尋坊の商店街

して生まれ変わり、ビクターセンタ―を中核に冬季の誘客強化につながるかと考えている。

Q 多くの人が何度も訪れ、年間通じてにぎわいを創出するエリアとして発展することを期待している。

Q 再整備後の不測なことや想定外な問題などの課題解決を地元任せではなく、協力体制の構築を。

A 一大観光資源なので、本市も一緒に考えて、課題があるようなら解決していくよう、今後も地元と共に事業を進めていく。



岡部 恭典



えちぜん鉄道利用者の利便性の取り組みを



Q 駅駐輪場の現状を見ると、老朽化による改修が必要な駐輪場や、自転車が道路にはみ出している駐輪場もあるが、管理の現状と改修や整備の計画は。

A 市内のえちぜん鉄道9駅の駐輪場の管理は本市において行い、適宜老朽化した設備の修繕や照明器具の取り替えなどを実施している。

Q えちてつサポートーズクラブの会員証と交通系ICカードとの連携構築を。

A えちぜん鉄道によると、ICカードでも運賃割引の特典が適用できるよう検討したが、システム



▲駐輪場の現状

Q ゆりフェスタ期間中、西長田ゆりの里駅からシャトルバスの運行やレンタサイクルを設置し、鉄道利用者の利便性向上の取り組みを実施してはどうか。

A シャトルバスの運行には、運転手の確保などの体制整備が必要であり、レンタサイクルにおいても車両の管理など、人的にも費用の面からも導入には課題がある。



伊藤 宏実



プラごみ一括回収の成果は



Q 令和6年度1年間の回収量は。回収量は313トンで、目標の95%となった。

A また、プラ使用製品は29トン回収でき、プラごみ削減に一定の効果を上げていると捉えている。

Q 回収に要する費用は。

A 費用は、1940万円で、廃棄物全体の回収費用の7・6%となっている。

Q 処分と製品化にかかる費用は。

A 費用は圧縮、結束などのペール化で1112万円、再商品化で192万円となっている。

Q 市全体のCO2削減にどれだけ貢献をしたのか。

A プラごみのリサイクルによって削減されたCO2の量は864トンと推測され、市全体の排出量85万トンの0・1%に相当する。

Q 企業が排出するCO2が大きいと思うが、市内企業に対する働き掛けは。



▲本市のプラごみ一括回収においてペール化（圧縮梱包）された再資源化前状態（福井市にあるプラ再生施設）

Q ゼロカーボンシティ実現に向け包括連携協定を結び、脱炭素化推進に向けたセミナーや相談会を開催している。

A 令和6年度の反省を踏まえ、令和7年度の取り組みをどのように進めるのか。

Q ごみの減量化に向けた市民ワークショップや小中学校での環境教育、エコキッズ親子学習会などを開催する予定となっている。



川畑 孝治



若者対策をすべき



Q 図書館やコミュニティセンターなどに学習スペースを増やすべきでは。

A 図書館の混雑時には長机などで席数を増やしたい。

Q また、コミュニティセンターでは自由来館も想定しており、学習スペースの対応をしたい。

A 高校生は、市内に遊べる場所が欲しいと聞かれます。

Q 中高生の意見を聞きながら、取り組みたい。

Q リチウムイオン電池などを回収すべき



A 県や広域圏などと連携して、分別、回収、リサイクルに取り組むべきでは。

Q リチウムイオン電池などが使われている製品、機器の正しい廃棄の方法などの周知に努め、市民の意識を高めたい。



▲春江図書館の学習スペース

Q グラウンド跡地の北陸デジタルものづくりセンター横に新たな研究棟が建設されるが、県に対しスタートアップ事業者の拠点となるような施設整備を要望しては。

A まだ空きスペースもあり、県など今後の利活用について協議したい。



永井

純一



窓口に軟骨伝導イヤホンの設置を

耳が聞こえにくい住民、高齢者が市役所を訪れた際の窓口対応を円滑にするため、また、安心して相談できるよう、軟骨伝導イヤホンの導入・設置を求める。

本市では、加齢により耳が聞こえにくい人や日常生活で聞こえに不安を感じている人が、安心して来庁し相談できるよう、令和7年2月に軟骨伝導イヤホン2台を導入している。

相談するなら坂井市「ここサポ」の強化を

職員の懸命の取り組みで行われている、市民の最後のとりでとな

る総合相談事業、「ここサポ」の体制強化を早急に図ってほしい。

本市は、3年前に「ここサポ」ということで、いろいろな相談をワンストップで受け付ける画期的な整備を図った。

市役所、社協で「ここサポ」の窓口を数カ所設け、充実した相談体制が図られている。

この3年間、相談件数は増加しており、今後も相談件数や内容も増えて複雑になると予想されるため、人員体制について検討し進めていく。



▲「ここサポ」での相談の様子



山田

秀樹



市民を守る防犯カメラの充実を

コロナ収束後、犯罪が増加しているが、本市の状況は。

令和5年の刑法犯は387件で、前年から95件増加している。本市の防犯カメラ設置数および成果は。

駅やバスターミナルなど屋内228台、屋外55台の合計283台を設置しており、令和6年は警察から27件の情報提供を求められ、早期の事件解決につながった。

保育園、小中学校敷地内および通学路の防犯カメラ設置状況は。

公立の幼稚園や保育園などの敷地内は49台、小中学校は82台で、公立の敷地内については全て完了している。

通学路には設置していない。

通学路設置への今後の考えは。

毎年PTAと学校から報告された通学路の危険箇所の合同点検を



▲市内小学校に設置された防犯カメラ



廣瀬

陽子



前向きな鳥獣害対策の取り組みを

クマの誘引樹木伐採事業補助金の利用実績は。

現時点で要望や利用実績はないが、集落に誘引しないための有効な対策だと考えている。

クマの誘引樹木伐採事業補助金を利用に結びつかない理由は、認知度不足や利用目的が市民に伝わっていないからではないか。

区での樹木伐採申請は、財産権の侵害などで、ためらう人もいるように感じる。

現在、県で制度の見直しを検討しており、市も柔軟に対応したい。また、区長や住民の理解が進むよう市ホームページや広報紙などを工夫し、制度が使われるよう活用を周知していきたい。

狩猟免許所持者の高齢化が指摘され、本市では狩猟免許取得および猟銃所持初期経費の助成を行っているが、新たに狩猟免許を取得



▲ 栗の木に登るクマ

した人が有害鳥獣捕獲隊員として活動を続けるための対応は。

本市の狩猟免許保持者は、60歳以上が60%と高齢化が進んでいるが、わな猟免許取得を支援したことで30代から40代の加入者も増えてきている。

令和7年度から事業を拡充し、免許の更新費用支援を行ったり、地域住民が捕獲補助者として、餌の設置やおりの監視を行う体制を整えるなど、有害鳥獣捕獲隊員の負担軽減を図っている。



佐藤

岳之



坂井市制施行20周年に向けて

坂井市制施行20周年に向けての市の基本的な考え方や取り組みは。

本市が誕生して20年という大きな節目の年を迎えるにあたり、市民と共にこれまでの歩みを振り返り、市民一人一人がこの節目を共感し、さらなる融和、一体感につながるものにしていきたい。

坂井市制20周年を盛り上げるため、市民、職員などからアイデアを公募する考えはないか。

20周年を、より多くの人に身近に感じてもらい、参加意識を高める上でも有効な手段であり、特にこれからの坂井市を担う若者の意見は大切であると捉えている。市民の意見を聞けるよう、ありとあらゆる機会を通して、今後検討していきたい。20周年を共に祝い、実感できるようなイベント事業となるよう取り組んでいきたい。

建設予定地に完成予想図を

市内公共施設の建設中の現場に、施設の完成予想図、イメージなどを掲げることはできないか。

今後、公共施設などの整備工事などにおいて、特性や工事内容などに応じて、効果的な情報提供をし、地域住民や観光客に対して関心が高まるよう、完成予想図などの設置に努めていく。



▲ 丸岡城の水盤整備工事現場に設置された完成予想図



畑野 麻美子



米価格の高騰による、お米の購入補助を



消費者と米の生産農家を守る市独自の支援策として、お米の購入補助を。

本市においては米の生産農家も多く、市独自で米購入補助を実施する効果は限定的である。

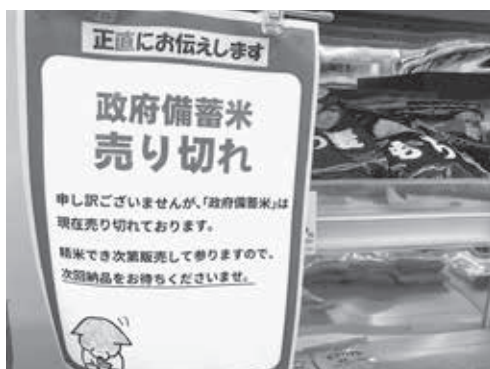
また、低所得者世帯への支援や子育て世帯への支援、キャッシュレスキャンペーンの実施など総合的な施策を実施している。

公契約条例の制定で地域での「好循環」の実現を



公契約条例とは、自治体が発注する公共工事や業務委託などに従事する従事者の賃金、報酬下限額を設定し、自治体受注者の責任などを契約事項に加えることを定めた条例である。

適正な労働条件を確保すること



▲ 売り切れになっている政府備蓄米

で、地域経済に好循環をもたらす公契約条例の制定を求める。

本市では、最低制限価格の設定や工事内訳書の提出などにより低入札対策を行い、令和7年度からは週休2日制を考慮した設計とするなど、公共工事に従事する労働者の適正な賃金の確保や労働環境の改善、公共工事の質の向上に努めてきている。

これらについては今後も調査研究していく。



林 豊夏



圧倒的な子育て政策を目指して



子育て支援を福祉政策にとどめず、交通や移住定住施策など、まちづくり全体の柱として展開すべきではないか。

子育て支援は福祉に限らず、移住定住やまちの魅力向上と直結している。

こども計画を全庁連携で進め、他部門とも連動して「まちづくりとしての子育て支援」を推進している。

国の児童手当拡充によって第3子支援が吸収された中、これまでの坂井市独自の支援はどう評価されているか。

今後、新たな独自支援策は検討されているのか。

これまでの多子世帯支援は一定の成果を上げたと言われている。今後は経済支援に限らず、多角的な支援策を庁内で検討し、若手職員の意見も取り入れていく。



▲ 子どもの遊び場で遊ぶ子どもたち

今後、市として特に注力していくべき子育て支援分野はどこか。また、中長期的な視点での施策の方向性と、将来のまちのビジョンは。

重点は「子どもの居場所づくり」であり、全天候型遊び場や公園整備なども進めていく。

中長期的には満足度向上と定住促進を図り、自然や地域の強みを生かした「住み続けたい坂井市」を目指す。



三宅 小百合



精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築を



本市の精神疾患を有する患者数の推移は。

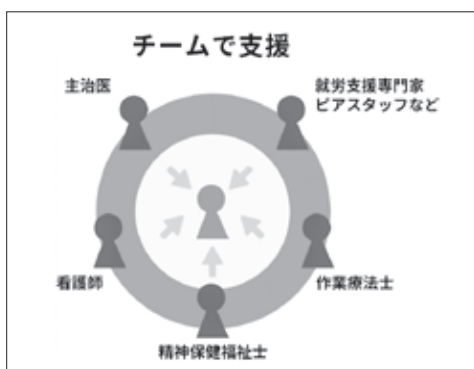
令和6年3月末現在で精神障害者保健福祉手帳交付数が958件となっており、令和元年と比較すると約28%増加している。

また、精神通院受給者証交付数は1812件で約30%増加している。

精神疾患やうつ病を未然に防ぐ取り組みは。

各種集団健診などで心の健康度チェックリストを活用し、結果に応じて保健師などが助言を行い、ストレスや窓口相談のチラシの配布やホームページで定期的なチェックを勧めているほか、公認心理士による相談会を実施している。

重い精神障がいをする人が地域で生活できるように支援するACT(アクト) 包括型地域生活支援チームを設立できないか。



▲ ACT(包括的地域生活支援プログラム)のチーム体制

本市では重層的支援体制整備事業の一環として福祉総合相談課に精神保健福祉士・保健師・看護師・理学療法士・作業療法士・社会福祉士・栄養士など多様な専門職を配置している。

これらの専門職が医療機関をはじめとする関係機関と密接に連携し、チームとして重度の精神障がいをする人の支援に取り組むことにより、ACTの考え方を踏まえた包括的かつ継続的な支援に取り組めるものと考えている。



松本 朗



イータクの改善を求める



利用者が伸び、市民に喜ばれている。

利用が集中する朝などは、予約が取れないとの声も聞く。

契約台数を増やすべきではないか。

利用時間帯は限られており、稼働率には余裕がある。予約時間の分散を呼びかけた。

台数の増加は検討する。

イータクは、停留所間移動だが、あわら市のように、買物帰りなどの場合に、自宅まで送るサービスを付加できないか。

自宅まで送迎すると、運行経路や運行時間の効率が低下し、全体的には利便性が低下する。

国民健康保険税—子どもの均等割の廃止を



国保には、世帯人数にかかる均

協会けんぽ		国民健康保険	
報 酬	23,637円/月	所得割額	360,600円
賞 与	43,238円/回	均等割額	149,200円
年間合計	370,121円	平等割額	29,000円
		年間合計	538,800円

▲ 国民健康保険税と健康保険協会(協会けんぽ) 保険料の比較(保険協会保険料額表より作成)

等割があり、協会けんぽに比べ負担が大きいとの認識はあるか。比較して論ずるものではない。4人家族専業主婦と子ども2人で収入630万円とすると、国保の方が協会けんぽより高い。子どもの均等割廃止の財源は。年間1400万円である。子どもの均等割廃止を求める。全国統一基準で実施すべきである。



議会連絡掲示板

議会と意見交換しませんか？

議会との意見交換会を希望する団体を募集しています。
坂井市議会では議会基本条例に基づき、様々な団体との意見交換会を実施しています。募集内容を坂井市議会ホームページに掲載しています。詳細は右の二次元コードからご覧ください。



こちらから
ホームページに
とびます！

議会を傍聴してみませんか？

事前予約は不要ですので、
お気軽にお越しください。



定例会
会期日程は
こちら

★ 9月定例会会期日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/24	25	26	27	28	29 10:00～ 本会議初日 (行政報告、議案説明など)	30
31	9/1	2	3	4	5	6
7	8 10:00～ 一般質問	9 10:00～ 一般質問	10 10:00～ 一般質問	11	12 10:00～ 産業建設常任委員会	13
14	15	16 10:00～ 教育民生常任委員会	17 10:00～ 総務生活環境常任委員会	18	19	20
21	22	23	24 10:00～ 本会議 (委員長報告・採決など)	25 9:00～ 決算特別委員会	26 9:00～ 決算特別委員会	27
28	29 9:00～ 決算特別委員会	30 9:00～ 決算特別委員会 (予備日)	10/1	2	3	4
5	6 9:00～ 決算特別委員会	7	8 9:00～ 決算特別委員会	9	10	11
12	13	14 13:30～ 決算特別委員会 (採決など)	15	16	17 10:00～ 本会議最終日 (委員長報告・採決など)	18

※ 日程は、変更になる場合がありますので、変更となった場合は、坂井市議会ホームページでお知らせします。

編集後記

三国花火が終わり、夏本番の
気配を感じる季節となりました。
皆さん、いかがお過ごしで
しょうか。

今回も、「てにとりやすい・
みやすい・わかりやすい」をコ
ンセプトに、表現や構成に工夫
を凝らして作成しました。

本紙は、「議会の中身を、市民
に伝える」ための大切な広報紙
です。日々の暮らしの中で、少
しでも議会を身近に感じていた
だけたら幸いです。

坂井市では、暮らしや地域の
未来に関わる幅広い議題が、議
会で話し合われています。「こ
んなことを取り上げてほしい」
「議会で話してほしい」など、
皆さんのご意見があれば、ぜひ
お寄せください。

秋にかけて、地域ではたくさ
んの行事が予定されています。
普段あまり参加しないような行
事にも、ぜひ足を運んでみてく
ださい。新しい出会いや発見が
あるかもしれません。

(林 豊夏)

令和6年度 政務活動費の会派収支について報告します

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な費用の一部として、
議会における会派に対し交付されます。

- ・各月1日時点の会派の所属議員数に月額50,000円を掛けた金額が交付されます。
- ・収支内容は、毎年度議長に報告し、残額がある場合は市に返還することになっています。
- ・議会ホームページにて各会派の収支報告書を公開しています。



▲議会ホームページ
(政務活動費について)

《令和6年度》

(単位:円)

会派名		創政会	志政会	政友会	日本共産党 議員団	公明党	一進会	チャレンジ さかい	政新さかい	合 計
収入	政務活動費	6,650,000	1,800,000	1,350,000	1,200,000	600,000	550,000	550,000	500,000	13,200,000
	預金利子	897	253	99	111	173	76	93	83	1,785
	合 計	6,650,897	1,800,253	1,350,099	1,200,111	600,173	550,076	550,093	500,083	13,201,785
支出	調査研究費	3,238,395	776,169	660,611	94,000	98,755	236,399	190,069	254,104	5,548,502
	研修費	710,274	110,160	0	106,060	0	0	119,835	0	1,046,329
	広報費	0	0	0	880,452	0	0	0	0	880,452
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要望・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	1,053,045	247,552	12,166	16,281	0	0	10,522	0	1,339,566
	資料購入費	60,940	90,822	0	39,140	0	0	6,360	0	197,262
	人件費	63,027	0	0	0	0	12,020	0	0	75,047
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務費	43,890	59,480	8,910	7,920	3,960	3,630	3,630	3,300	134,720
	その他の経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	5,169,571	1,284,183	681,687	1,143,853	102,715	252,049	330,416	257,404	9,221,878
残 額 (返還額)		1,481,326	516,070	668,412	56,258	497,458	298,027	219,677	242,679	3,979,907

政務活動費の主な使途事項

■調査研究費

会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査
研究（視察を含む）及び調査委託に要する経費

■研修費

- ①会派が研修会、講演会等を開催（共同開催を含む）
するために要する経費
- ②団体等が開催する研修会（視察を含む）、講演会
等への参加に要する経費

■広報費

会派が行う活動、市政について住民に報告する
ために要する経費

■広聴費

会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する
要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費

■要望・陳情活動費

会派が要望、陳情活動を行うために必要な経費

■資料作成費

会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

■資料購入費

会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に
要する経費

■人件費

会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費

■事務費

会派が行う活動に係る事務の遂行に要する経費

議会報告会を開催しました



▲ 高棕東部コミュニティセンターの様子

○日時:5月26日(月)19時～

会場:坂井市役所本庁舎
加戸・公園台コミュニティ
センター

○日時:5月27日(火)19時～

会場:三国木部、高棕東部、春江西
各コミュニティセンター

5会場で計38名の市民の皆さまが
参加され意見を交換しました。あり
がとうございました。



三国地区の意見

- 三国病院の待ち時間が長い。
- 電柱の無電柱化・地中化は財政が厳しい中進めていく必要があるのか。

丸岡地区の意見

- 末政随応寺線の道路が傷んでいる。事故も多いので早急に整備をしてほしい。
- 大森から山崎三ヶの道路で、スピードを出す車が多く、通学中の子どもが危ない。

春江地区の意見

- ゆりの里公園の空きテナントについて今後の活用方法はどのようになっていくのか。ロケーションもいいので早く稼働してほしい。
- 来年度いちいち荘は閉鎖されると聞いている。もう一度地域住民の声を聞き、立ち止まってほしい。

全体的な意見

- 議会中継の充実化をしてほしい。常任委員会なども見ることができるとよいと思う。
- 子どもたちのためにも、融雪や道路補修などを計画的に行ってほしい。
- スクールバスの条件を緩和してほしい。
- 除雪について、三国と坂井など地域ごとに線引きして対応するのではなく、実際の積雪量や状況に応じて柔軟に判断してほしい。

主な意見など

皆さまのご意見などは…

議会報告委員会において整理し、回答が必要な場合は、関係課に確認の上、回答をしています。

また、頂きましたご意見を取りまとめ、市長に報告し、本会議や委員会などの質問を通して、皆さまの声を市政に届けています。



議会報告会を終えて

多くの皆さまに議会報告会に参加いただきありがとうございました。

開かれた議会を目指し、各地区で報告会を開催させていただき、今回も活発な意見交換が行われ、改めて皆さまの市政に対する関心の高さを実感いたしました。今後とも議会活動にご理解いただきますようお願いいたします。

(議会報告委員長)



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。